

## 岩手県の「金融リテラシー調査 2019年」のポイント

以下は、金融広報中央委員会が2019年7月3日に公表した「金融リテラシー調査 2019年」<sup>1</sup>（今回は2016年6月に公表）をもとに岩手県のポイントを取り纏めたものである。

### 1. 金融知識・判断力

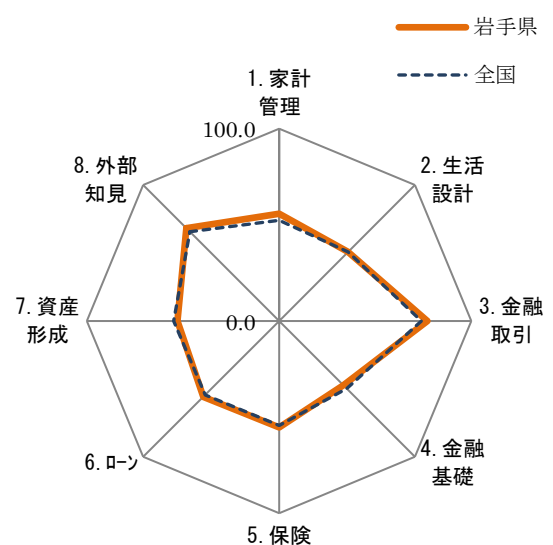
- 金融知識・判断力に関する正答率の結果は、図表1のとおり。合計の正答率は、57.0%（前回54.9%）と全国平均（56.6%）を上回った。この結果、全都道府県中で19位と前回（31位）比、大幅に順位が上昇した。
- 正答率を分野別にみると、全国平均と同様に「金融取引の基本」が77.2%と最も高く、「金融・経済の基礎」（注）が47.3%と最も低い。

（注）「金融・経済の基礎」の分野は、金利（単利・複利）の計算、インフレと貯蓄の関係、金利変動への対応等、「金融や経済の変化に対して自分がどのように対応すればよいか」に関する基本的な知識。

- 前回との対比では、「生活設計」を除く全ての分野で上昇した。また、全国平均との対比では、「家計管理」、「金融取引の基本」、「保険」、「ローン・クレジット」、「外部の知見活用」で全国平均を上回った。一方で、「金融・経済の基礎」、「資産形成」は、全国平均を下回った（なお、「生活設計」は、全国平均と同水準となった）。

（図表1）岩手県の金融リテラシー・マップ分野別正答率

金融リテラシー・マップの分野	正誤問題	正答率(%)			
		岩手県 (前回)	東北	全国	
家計管理	2問	55.8 (53.1)	54.7	52.3	
生活設計	2問	50.8 (52.1)	49.9	50.8	
金融知識	金融取引の基本	3問	77.2 (75.3)	74.8	74.0
	金融・経済の基礎	6問	47.3 (44.0)	46.3	49.8
	保険	3問	55.4 (52.9)	54.6	54.4
	ローン・クレジット	3問	55.8 (52.8)	53.6	54.4
	資産形成	3問	52.9 (52.3)	52.9	54.8
外部の知見活用	3問	68.1 (66.4)	66.1	65.6	
合計	25問	57.0 (54.9)	55.7	56.6	

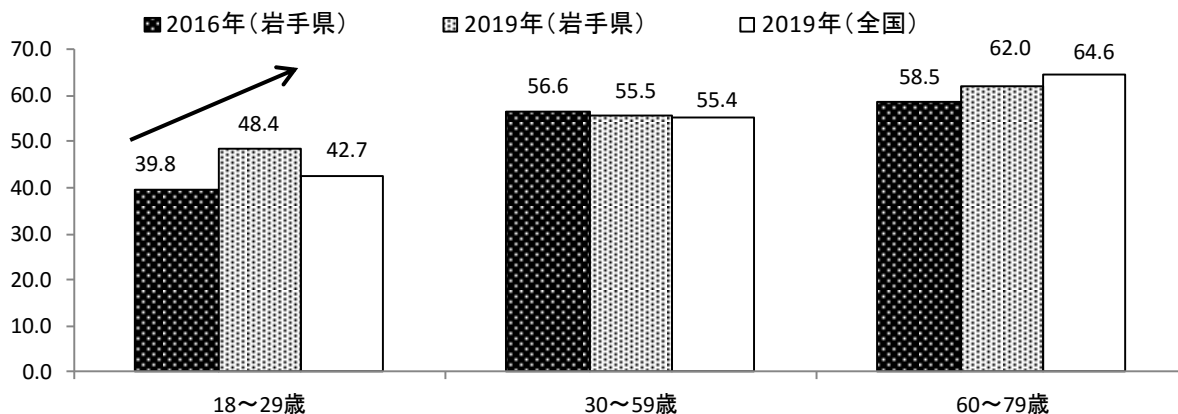


<sup>1</sup> 同調査は、18歳以上の個人の金融リテラシー（お金の知識・判断力）の現状を把握するために実施したアンケート調査（調査実施期間：2019年3月1日（金）～3月20日（水）、調査対象：全国の18歳～79歳の個人25,000人、調査方法：インターネット・モニター調査）。

- 正答率を年齢階層別（図表 2）にみると、「18～29 歳」が前回から大きく上昇（48.4% < 前回 39.8% >）し、全国平均（42.7%）を上回ったほか、順位も大幅に上昇した（3 位 < 前回 36 位 >）。

一方、「60～79 歳」は、前回から上昇した（62.0% < 前回 58.5% >）ものの、引き続き全国平均を下回った（39 位 < 前回 42 位 >）。

（図表 2）年齢階層別正答率（%）



## 2. 行動・考え方等に関する主な特徴

### （1）金融知識の自己評価等

- 「金融知識に自信を持っている人」の割合は、10.0%（前回 8.9%）と全国平均（12.1%）を下回った（35 位 < 前回 42 位 >）。
- 「金融トラブルの経験者」の割合は、8.8%（前回 7.7%）と全国平均（6.7%）を上回った（7 位 < 前回 12 位 >）。
- 「金融トラブル発生時の相談窓口を認識している人」の割合は、76.9%（前回 76.8%）と全国平均（72.2%）を上回った（5 位 < 前回 5 位 >）。
- 自分の「資産・負債の現状について満足している人」の割合は、22.3%（前回 13.9%）と前回よりも大きく上昇し、全国平均（23.0%）並みとなった（21 位 < 前回最下位 >）。

### （2）家計管理・生活設計

- 「緊急時に備えた資金を確保している人」の割合は、55.0%（前回 49.8%）と全国平均（54.4%）並みとなった（19 位 < 前回 40 位 >）。
- 「1 か月の支出を把握している人」の割合は、70.5%（前回 75.3%）と全国平均（72.6%）を下回った（36 位 < 前回 7 位 >）。
- 「お金について長期計画をたてる人」の割合は、43.0%（前回 42.1%）と全国平均（48.0%）を下回った（43 位 < 前回 44 位 >）。

### (3) 金融商品の利用選択等

- 「株などのリスク資産を購入した人」の割合をみると、株式（26.3%〈前回 18.1%〉、全国平均 32.2%）、投資信託（24.3%〈前回 20.5%〉、全国平均 27.4%）、外貨預金等（14.7%〈前回 9.3%〉、全国平均 17.4%）は、いずれも前回は上昇したものの、全国平均を下回った。
- 「お金を借り過ぎていると感じている人」の割合は、17.1%（前回 12.0%）と前回比上昇し、全国平均（12.8%）を上回った。「消費者ローンを利用している人」の割合も、5.6%（前回 5.4%）と全国平均（4.8%）を上回った。

### (4) 金融教育

- 「学校で金融教育を行うべきと思っている人」の割合は、70.9%（前回 64.9%）と前回比上昇し、全国平均（67.2%）を上回った。  
また、どこで金融教育を受けたかについて、「家庭で金融教育を受けた人」の割合が、23.5%（前回 22.0%）と全国平均（20.3%）を上回った（5位〈前回 15位〉）。一方で、「学校等で金融教育を受けた人」の割合は、6.0%（前回 6.2%）と全国平均（7.2%）を下回った（35位〈前回 27位〉）。

以 上